

令和元年度 主な観光振興関連事業の取り組みについて

1. (仮称) 観光振興ビジョン策定	
目的	<p>本市の第五総合計画において「地域資源を活かした観光振興のまちづくり」を掲げているが、これまで具体的施策を明確に示せておらず、また観光客の増加が観光消費額の増大につながるという考え方のもとで各種事業が進められ、観光による地域経済の活性化という視点が弱かった。</p> <p>このことから、観光振興施策を計画的かつ効果的に推進するための本市観光の総合的かつ経済効果を最大化する観光戦略「(仮称) 観光振興ビジョン」(令和2年度からの五カ年計画)を本年度に策定する。</p>
内容	<p>平成30年度に取りまとめた「(仮称) 栗東市観光振興ビジョン～「栗東市観光ニーズ調査」分析結果をふまえた本市観光振興の方向性～」(基本構想)を基本に栗東市観光振興ビジョンを策定</p>

2. 観光客向けのコンテンツ拡充事業	
目的	<p>訪日外国人が増加する中、本市魅力発信とあわせて受け入れ環境を年次的に整備し、観光による経済効果を高める。</p> <p>なお、現時点では本市を来訪する外国人観光客は少数だが、滋賀県及び県内市町においても取り組みが進められており、本市においても積極的な環境整備に取り組むもの。</p>
内容	<p>(1) 観光案内板修繕 市の玄関口であるJR栗東駅東口・西口に設置している観光案内板の掲載情報を更新するとともに、多言語での案内表示を実施。 〔令和2年2月末完了予定〕</p> <p>(2) 多言語観光案内システムの案内内容の更新 スマートフォン端末等で、観光施設に設置の案内看板や昨年度作成の多言語版観光パンフレットに設置・貼付したQRコードを読み取ることで、文字や画像、音声により多言語で施設案内・解説を実施。 〔平成30年11月20日より運用開始済〕</p> <p>(3) 無料Wi-Fi設置事業補助 観光施設等で観光客がインターネットを快適に使用できるための環境整備の一つとして観光施設等に対して設置費用の一部を補助</p>

3. 観光施設の管理	
目的	<p>観光客等に市内観光施設を安全に利用いただくため。</p>
内容	<p>(1) 観光施設等清掃管理 市内11箇所の観光施設(ハイキングコース及び公衆トイレ等)の清掃管理を地元自治会・団体等に委託し実施。〔通年〕</p>

4. 広域連携	
目的	近隣市等との連携により観光振興に効率的に取り組むことで、それぞれのまちの強みや魅力を広く発信し、誘客を図る。
内容	(1) 湖南地域観光振興協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・食をテーマとしたツアー商品の開発及び活用 ・広域観光キャンペーンへの参加 等

5. 観光案内所運営	
目的	本市魅力の観光情報発信の拠点として来訪者に対し観光情報の提供を行い、併せて本市の歴史・文化・地場産業の紹介、展示、特名商品の販売等を行い、観光客の利便性向上を図る。
内容	<p>昨年度に引き続き観光物産協会に委託することで、協会事業との一元化により、各種観光事業の効率化を図る。</p> <p>(1) 観光案内所運営 手原駅2階の観光案内所を年末年始以外開所し、観光情報の発信や匿名商品の販売を実施しており、利用者数・特名商品の販売とも前年を上回っている。なお、土日祝日はボランティア観光ガイドとの連携による観光案内を実施。</p> <p>(2) 宣伝、情報発信 観光客向けパンフレットの作成やホームページ、SNS（Instagram、Facebook等）による情報発信。 Instagram（インスタグラム）を平成30年5月末から運用開始。6月1日現在、1,243件のフォロワー数がある。Facebook（フェイスブック）は、市のFaceBookと連携して観光情報を発信している。</p> <p>(3) 外国人観光客の観光案内 昨年度に日本政府観光局（JNTO）認定の外国人観光案内所カテゴリー1を取得したことにより、観光案内板を多言語案内表示に変えるなど外国人観光客に対する機能強化を図る。</p> <p>(4) マンホールカード配布（平成30年12月から配布） 観光案内所が土日祝日も開所しており、観光PRにも繋がることから栗東市下水道カラーマンホール蓋のデザインを取り入れた「マンホールカード」を配布。</p>

6. その他（観光物産協会事業）	
目的	本市の魅力発信及び各種事業の展開により観光物産振興の発展を図る。
内容	<p>(1) 特名産品物産啓発 特名産品の販路拡大と特名産品を通じて栗東の魅力を発信する。観光PRとあわせて各地の物産展に出店し、市内観光および特名産品の紹介と魅力発信を行う。 「くりちゃん」、「栗東八景」グッズの取扱い・販売 物産展出店 京都競馬場、ゆるキャラグランプリ、泉佐野市、市内イベントなど</p> <p>(2) 誘客事業 文化財および地域資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧和中散本舗 特別公開（春季5月・秋季9月） 国指定重要文化財を事前予約不要で一般公開（ボランティア観光ガイドによる無料説明あり）。春～秋の月1回から、平成30年度より5月及び9月に集中して実施 ・たてば珈琲 広く栗東の観光資源をPRするため、旧街道に実存した「立場」（宿場間の休息所）をキーワードにスペシャリティコーヒーを販売し、旧和中散本舗 特別公開期や各種イベント会場（手原駅マルシェ、旧和中散本舗特別公開、東海道ほっこりまつり）に出店 ・RITTOフォトコンテスト（募集期間：7月から12月） 市内の自然や歴史などの良さを発見してもらい、その良さを写真で発信することで市内の魅力を共有できることから毎年フォトコンテストを開催。募集期間は7月から12月 ・馬のまち事業（競馬観戦教室、乗馬体験） 京都競馬場開催の「栗東ステークス」および「近江特別」レースで競馬観戦教室と物産展を開催し、栗東市の魅力発信や誘客促進を図る。また、地域資源の「馬」を活かす企画として乗馬体験を実施予定 ・手原駅マルシェ開催（9月開催予定） 栗東の魅力発信及び観光案内所のPRのため、手原駅1階コミュニティ広場を活用した物産展を開催 ・栗東のまつり（各まつりへの協賛、協力）

金勝山エリアの活性化

- ・りっとう市民秋まつり（11月10日（日）開催予定）

滋賀日産リーフの森を会場に、森林での自然体験等を通じ、広く本市の魅力を発信するまつりを平成29年度から開催。

平成30年度の来場者：3,600人

また、今年度は令和3年春頃に全国植樹祭が甲賀市で開催されることに伴い、全国植樹祭を広くPRするために県内19市町を巡回し、「ビワイチ森づくり」の開催を考えており、キックオフイベントとして滋賀県と共催予定

(3) 観光客受入環境整備

市内二次交通整備

- ・こんぜめぐりちゃんバス運行

春と秋の行楽シーズンに、市内の魅力ある観光スポットを結ぶシャトルバスとしてJR手原駅～金勝寺間を循環するバスを運行

- ・レンタサイクル事業 新規

栗東市商工会で実施していたレンタサイクル事業を観光物産協会に移管。これにより、土日祝日も事業実施が可能となり、利用者の利便性向上につながる。

(4) 広域連携

日本観光振興協会、関西広域連合、滋賀県観光振興局、びわこビジターズビューロー、湖南地域観光振興協議会（湖観振）など

【参考】観光案内所・観光物産協会 事業実績

項目 \ 年度	H 2 9	H 3 0
開所日	年末年始(12/29～1/3)除き通年	
時間	《平日》午前8時30分から午後5時15分 《土日祝》午前8時30分から午後0時 (めぐりちゃんバス運行日は、午前8時15分から午後5時)	
年間利用者数	16,594 人	19,517 人
年間売上額	1,495,700 円	1,508,914 円
ホームページ		H30.1 にリニューアル
アクセス数 (年間)	29,128 回	52,507 回
こんぜめぐりちゃんバス		
運行日数	51 日	51 日
利用者数	778 人	707 人
旧和中散本舗 公開		
期 日	5/27, 28 7/1 8/5 9/9 10/7, 14 計 7 日間	5/19, 20, 26, 27 9/22, 23, 24 計 7 日間
人 数	403 人	461 人
りっとう市民秋まつり		
期日、会場	11/11 (土) 滋賀日産リーフの森	11/11 (日) 滋賀日産リーフの森
来場者数	1,700 人	3,600 人
スタッフ	7 人 (市職 1・協会 6)	